

グリーンたいむ

発行:グリーンコープ生活協同組合くまもと
<https://greencoop-kumamoto.jp/>

いのちをつなぐための 「かさじぞう基金」



事例1 (30代女性)

来月出産予定で、夫が双極性障害で数ヶ月休職したため収入減となり、本人は今月から産休となつたため手持ち金もなく、ガス代8,000円を、かさじぞう基金利用。

事例2 (50代男性)

繊維筋通症や強迫性障害を持ち、障害年金と日払い就労で生活維持をされてきたが、車の故障や車検があり、友人に借りていた借金を年金で返済したため、手持ち金も食料もなく、生命維持に必要な食料と遅延している電気代1ヶ月の解消のため、かさじぞう基金利用。

また、返済については「急がなくて大丈夫です。見通しが立つてからお返しください」とお伝えしています。「お世話になりました。本当に助かりました」とお礼と返済に来られ、そうやつて皆さんの善意が、また次に必要な方たちへつながっています。年明けにカンパの呼び掛けを予定しておりますので、よろしくお願ひいたします。

生活再生相談室 高濱 千夏

いのちをつなぐための「かさじぞう基金」にご協力いただき、ありがとうございます。これまでに皆さんからお寄せいただいたカンパ金は、506万円に上ります。新型コロナ、失職、病院受診や就労継続のために必要な携帯代やガソリン代など、その時々の必要な支援のため、延べ568件、総額521万円を活用させていただきました。さまざまなかつらのうちをつなぐための「かさじぞう基金」が役立っています。

♥ カンパにご協力お願いします ♥

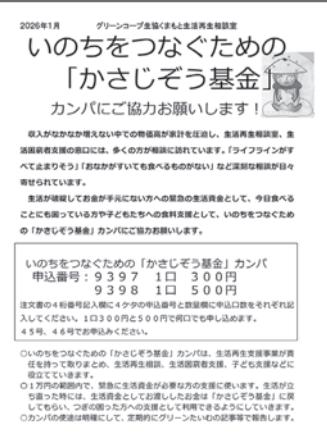
いのちをつなぐための「かさじぞう基金」は、昔話の「かさじぞう」から名付けられました。

本当に困っている方へ当座の生活資金をお貸しして、収入があった時にお返しいただき、困っている別の方にお貸しする基金です。

いのちをつなぐための「かさじぞう基金」カンパ

- ◆注文書の4桁番号記入欄に4桁の申込番号と、数量欄に申込口数をそれぞれ記入してください。
- ◆1口300円と500円で何口でも申し込めます。カタログGREEN45号（1月12日～配布）と46号（1月19日～配布）でお申し込みください。
※詳細は、配布されるチラシをご覧ください。

- 1 : いのちをつなぐための「かさじぞう基金」 / 2 : 東・西地域本部のページ /
3 : 組合員活動報告のページ / 4 ~ 5 : 2025年度産直交流活動報告 / 6 : クリスマスプランメニュー レシピ / 7 : わたしとグリーンコープ、こんにちは！ワーカーズです、2027カーボンニュートラル / 8 : みんなのひろば、グリーンコープでんき関連、電話コーナー、リユース・リサイクル状況、編集者だより



チラシのイメージ

お グリーンコープ

グリーンコープは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



© 2010 くまモン

2025 シャボン玉フォーラム in おおいた

かたらんかい？せっけん Life

～未来へつなぐ環境のバトン～

シャボン玉フォーラムは、次世代にきれいな水と豊かな自然を残していくため、また、せっけんの使い手を増やしていくために、毎年、せっけん運動ネットワーク参加団体が持ち回りで開催している全国集会です。1988年に始まり2025年で35回を迎えました。



あわおにちゃん
マスコットキャラクター

10月17日(金)・18日(土)の2日間に亘って、「シャボン玉フォーラム in おおいた」が開催されました。

1日目の第1部は、プロダイバーの武本匡弘さんを講師に、「『海から見る地球』～気候変動と海洋プラスチック問題～」について基調講演がありました。気温の上昇により、海が磯焼け・砂漠化し生物多様性が失われていること、CO₂排出国とその犠牲となっている国々への不正義、太平洋は「プラスチックスープの海」となっていることなど、「目撃者」だからこそ話せる海の現状について話されました。

第2部は、大分県在住で環境を守る活動をしている人や団体の報告として、写真家の船尾修さんが「生命的循環『森の人』ピグミーの暮らしから環境について考える」と題し、自然と共生し自然に還るピグミーの暮らしから、「環境を守る」ことは「自分自身を守る」ことにつながり、地球上の全ての生命は循環の輪の中にあるとお話されました。グリーンコープ生協おおいたからは、せっけん派生協として、中からせっけんの利用率を上げるために、学習会やワークショップを開催した様子が報告されました。

西地域本部 地域理事長 森田 弓沙



10月18日、第1分科会

せっけん運動ネットワーク
梶田博さん講演会
暮らしに潜む有害物質
～環境ホルモン・香害～



梶田さんは、「環境ホルモンは海賊放送に似ている。環境ホルモンは、偽のホルモンとして女性ホルモンを偽装、男性ホルモンを阻害、甲状腺ホルモンを攪乱する。その他に性別や生殖への影響だけにとどまらない。発がん性や生殖毒性など健康に影響がある」と言っている。「香料成分の毒性は、アレルギー反応、健康被害、環境ホルモン作用、神経学的影響、高濃度での毒性などあります。天然か人工かはあまり関係ない。自分が大丈夫か、問題を起こすか起こさないか経験で判断しないといけない」と話されました。

こんな有害物質から身を守るには、せっけんが有効です。せっけんはメソポタミア文明の時代からあり、泡立っていると洗浄力と殺菌力があります。5000年利用し続けてきた安心できるせっけんを見直し、皆さんに伝えていきたいと思いました。

西地域本部 商品おすすめ委員長 柴田 裕子

2日目の第2分科会「ワークショップ」に参加し、株式会社彩生舎のアロマルームスプレー作り、株式会社シャボン玉本舗のマイせっけん作りなどを体験しました。

好きなアロマオイルを選んで混ぜるだけだったり、粉せっけんと精製水を混ぜて型にはめて固めるだけだったりと、簡単にできるものばかりでしたので、今後、地域本部の取り組みなどでもやってみたいと思いました。

東地域本部 地域理事長 株元 知子

9月19日(金)、環境活動委員会で

グリーンパワー小国合同会社*運営の発電所視察へ行きました

まずは、馬洗瀬小水力発電所へ。こちらは、小国町の農業用水が、高いところから低いところへ落ちるその力を利用する発電所です。

次に、杖立温泉熱バイナリー発電所へ。こちらは、温泉の蒸気と熱水の2つの熱システムを利用した発電所です。

どちらも、自然の営みから生まれるエネルギーを電力として受け取る、クリーンエネルギーです。自然の循環の中で電力が生み出せている事実に感動しました。



杖立温泉熱バイナリー発電所にて



蒸し場での様子

そして最後は、杖立温泉の蒸気でいろいろな根菜やたまごを蒸してみんなで食べながら、交流を楽しみました。

「グリーンコープでんき」の利用しやすいプランも始まっています。

みどりの地球をみどりのままで受け継いでいくために、できることはたくさんあります。できることから始めてみませんか？

しみず地区 環境活動委員 後藤 文

*グリーンパワー小国合同会社…小国町のローカルパワー株式会社・環境エネルギー政策研究所・一般社団法人グリーンコープでんきの3社共同で事業運営

福祉委員会ミニ学習会報告～グリーンコープのフードサポート～

6月27日(金)、フードサポートを受けている「こども・地域食堂“だんだん食堂”」の穴井智子さん（一般社団法人ハンズハンズくまもと）代表）から、お話を聞きました。

①活動内容

嘉島町で熊本地震後の2017年から活動スタート。現在では食事提供だけではなく、以下のことも実施中。

- ・放課後の居場所づくり
- ・学習支援
- ・ひとり親家庭・生活困窮者へのサポート

②フードサポートを受けての変化

- ・食材に困らない
- ・資金不足の軽減
- ・メニューに変化がある
- ・子どもたちが楽しみにたくさん来る
- ・グリーンコープに「おんがえし」したいと思うようになった



フードサポートの活用
200食分を提供

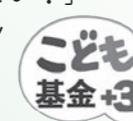
③学習会で感じたこと

活動を続けることは、たくさんの工夫と努力、多くの協力が必要です。活動をしている方が継続していくためのサポートをグリーンコープ組合員ができるということを、私たち一人ひとりが知っていくことが大切だと感じました。



④活動への支援方法

「子どもたちの心と健康と幸せを守りたい！」という願いから、「一般社団法人グリーンコープこども基金」ができました。



- 支援方法は、
- ◆ G C菓子パン購入でこども基金（3円）
 - ◆ こども基金カンパ（014 一口200円）
 - ◆ カタログ古紙回収事業収入など

宇城・美里地区 福祉活動委員 井本 沙織

佐伊津有機農法研究会 きゅうり収穫体験



11月2日(日)、天草市の佐伊津有機農法研究会の畑で、きゅうりの収穫体験を行いました。グリーンコープの安心・安全な野菜づくりに取り組む生産者さんと、組合員・地域の方々が交流し、自分の手で収穫したきゅうりをかじって「おいしい!」「新鮮でシャキシャキしてる!」と笑顔が溢れていきました。

生産者の方から育て方や工夫を聞きながら、食べものができるまでの大切さを実感しました。もぎたてのきゅうりを手に、心もおなかも満たされた1日。

顔の見えるつながりの温かさを感じる、素敵なお交換となりました。

天草地区 委員長 齋藤 希世子

レツツゴー田んぼ in JA阿蘇阿蘇町

5月10日(土) 田植え 9月6日(土) 稲刈り



雨上がりの肌寒い中、素足で田んぼの土の温かさを感じながら植えた細い緑の苗が、生産者の皆さんのおかげで立派な黄金色の稲穂を実らせています。希望する子どもたちは先にエアコン完備のコンバインに試乗させてもらい、めったにできない体験を楽しみました。その後みんなで田んぼに入り、鎌で慎重に1束ずつ稻穂を刈り、5~6束にまとめていき、心地よい汗をかいたら着替えて、お待ちかねの昼食交流会です。

婦人部の方が作ってくださったカレーライスに新鮮野菜のサラダ、生産者のご厚意でブドウやスイカの試食もあり、お代わりする人続出でした。

スイカの重量当てでは、わが子を抱き上げて重さを考えるほほえましい光景が見られました。バケツ稻コンテストの上位3人にはお米が贈呈され、笑顔が溢れていきました。

以前と違う気候変動の中、安心・安全を心掛けてお米を生産してくださる生産者への感謝を忘れず、注文を呼び掛けていきたいと思います。

松橋地域委員長 竹下 美沙子



6月4日(水)、帯山・月出地区の取り組みで、南阿蘇ファーマーズの生産者の圃場に、ピーマンの収穫体験に行きました。初夏とはいえ、とても暑い日だったので、ピーマンのハウスの中ではなく、圃場近くの公民館で生産者の方のお話を聞かせていただきました。

祖父の代から50年ピーマンを育ててこられましたが、暑さの影響で、定植して苗が枯れたのは昨年が初めてだったそうです。収穫後、ハウスの中に水を溜めて、夏の暑い時期に熱湯消毒のような状態にすることで、薬剤を使わずに消毒ができるそうです。

野菜の価格について、生産者の皆さんのが安心して生産を続けられるよう考えていかなければ、と感じました。

小さなお子さんも一緒に収穫に参加していましたが、生のままピーマンをかじったり、帰宅していろいろな料理でおいしくいただきました。

帯山・月出地区 委員長 堤 雅



2025年度 産直交流活動報告

熊本県内にはグリーンコープの産直青果産地は12産地、米の生産地は6産地あります。今年度も、組合員が産地に出向いて、収穫体験や交流会を行いました。その一部を紹介します♪



清和有農会 ほうれん草収穫体験・交流会



9月28日(日)、1980年代初頭からの産直産地である山都町の清和有農会を生協系・福祉系ワーカー約30人で訪問しました。

ここは、標高600m程の高冷地で、ハウスの中で栽培されています。青々としたおいしそうなほうれん草の収穫は、一株ずつ丁寧に引き抜いて根っこを切り落とすという、思いのほか大変な作業をされているというのがよくわかりました。

公民館に移動しての昼食交流会では、配食サービス「パセリ」さんに作っていただいたお弁当を皆で食べた後、生産者から作物栽培や苦労の様子をお話いただきました。ワーカー毎の仕事内容の紹介で、ワーカー同士の交流もでき、生産者に準備いただいた葉っぱ当てクイズで盛り上がりいました。

ワーカーズ・コレクティブ 聞文(bunbun) 伊藤 春美

わたしとグリーンコープ わたしとグリーンコープ

「学びの機会に感謝」

私は、独身時代はあまり食へのこだわりはなく過ごしていましたが、息子が生まれてから、「身体は食べ物のからつくられる」と、素材から気にして買うようになりました。

ですが、グリーンコープの活動委員として学んでから、「国産」の表示にだけ安心してはいけないことを知り、「知る」ことの大切さを学びました。

子どもたちの未来が少しでも暮らしやすい環境となるよう、グリーンコープの活動をたくさんの方に知つてもらいたいと思います。

子どもたちの未来が少しでも暮らしやすい環境となるよう、グリーンコープの活動をたくさんの方に知つても楽しく学ばせていただいています。

東地域本部 東部地域委員会 副委員長 俵積田 仁子

こんにちは！ワーカーズです

HELLO!

おいしい食事は、毎日の大事な楽しみだと思いますので、「おいしかった」という声をいただくと、嬉しくて励みになります。

安全でおいしいお弁当を作る調理の方、元気と笑顔と一緒にあります。楽しい環境となるよう、グリーンコープの活動をたくさんの方に知つても楽しく学ばせていただいているです。

労働協同組合 配食サービス パセリ

大澤 千賀子

2027カーボンニュートラル

西部センターでは全車EV車に入れ替えてます

西部センターでは、2024年度にグリーンコープ生協くまもとで最初に配送トラック23台と拡大用軽バン7台の合計30台をEV車に入れ替えてます。

EV車への入れ替えにつきましては、2027カーボンニュートラルに向けて大切な取り組みの1つになります。CO₂を排出しないEV車へ入れ替えたことにより「みどりの地球をみどりのままで」子どもたちに手渡せるように取り組んでいきたいと思います。

このような取り組みを推進できるのも、組合員の皆さんより「カーボンニュートラル1%拠出」に同意いただき、ご協力いただいたおかげです。

これからも組合員・ワーカー・職員が一丸となってカーボンニュートラルの取り組みを推進していきたいと思います。

西地域本部 西部センター長 吉岡 英樹



クリスマス ブランチメニュー レシピ

especially For you

■ びん牛乳をはじめ、グリーンコープ自慢の商品を使ったクリスマスにピッタリな料理を紹介します。ぜひ、作ってみてくださいね！

マカロニグラタン

※作り方は箱の裏面レシピを参照。

【材料】(3~4皿分)

■ びん牛乳 400ml、水 240ml、■ マカロニグラタンの素 1箱、■ 産直若鶏小間切 100~200g、玉ねぎ 1/2個、なたね油またはオリーブオイル、バターなど 大さじ3、粉チーズ・塩・コショウ・パセリ 適宜

■ びん牛乳ノンホモで作る モツツアレラチーズ

【材料・使用する道具など】

- びん牛乳ノンホモ 1本
- 純米酢 60ml
- 海水塩(なぎさ) 40g
- 水 500ml
- 90℃のお湯 500ml
- 鍋 (22cm程度) 1つ
- 木べら 2本
- ボウル 2個
- 温度計
- ザル
- キッチンペーパー

【作り方】あらかじめ、ボウルに塩と水500mlを入れ、よく溶かし食塩水を作つておく。90℃のお湯500mlを準備しておく。
 ①鍋に牛乳を入れ、温度を均一にするため時々混ぜながら中火で温める。
 ②①が63℃になつたら酢を回し入れながら木べらでゆっくり混ぜ、分離し始めたら火を止める。
 ③固まり(チーズ)を寄せるように一方向にゆっくり混ぜ、まとまつたらキッチンペーパーを敷いたザルで漉す。※漉す際に水分(木エー)は捨てず、別のボウルに移しておく。
 ④チーズを鍋に戻し、90℃のお湯をチーズの高さの8分目まで入れ、2本の木べらを使って外側から内側へ折りたたむように、きめ細かくなるまで繰り返す。
 ⑤チーズを食塩水に15~20分浸し塩味を付ける。

カブレーぜの作り方

【材料】

モツツアレラチーズ、トマト、バジルの葉など

皿にモツツアレラチーズとスライスしたトマトを盛り付け、バジルの葉を添える。

木エーのレモネードの作り方

【材料】

木エー 600ml
はちみつ 大さじ12
レモン汁 大さじ6
クラッシュアイス・ミントの葉 適宜

①木エーを入れた容器に、はちみつとレモン汁を加えてよく混ぜる。
 ②①をクラッシュアイスを入れたグラスに注ぎ、細かく刻んだミントの葉を加え、混ぜながらいだく。

